

## 情報処理学会東北支部研究講演会（秋田大学）報告

○日時：2024年12月2日（月）13時～14時20分

○主催：情報処理学会東北支部

○共催：秋田大学大学院理工学研究科，秋田大学大学院先進ヘルスケア工学院

○実施形式：オンライン

○講師：松田 克巳氏

（株式会社フォーラムエイト 執行役員）

○演題：デジタルツイン，メタバースを実現する日本発！VR/ARソフトウェア活用事例

○概要：サステナブルな社会の実現に向けて，デジタルツインやメタバース技術は，都市計画，自動運転，ならびに製造業等の分野で活用されている。これらの技術は，フィジカル(物理)モデルに代わるシミュレーション環境として，実験・訓練等を目的として利用されているが，関連するソフトウェア技術やハードウェア技術の進化に伴い，その活用範囲も拡大している。

本講演では，3D都市モデルや点群データ等のオープンデータを活用した都市のデジタルツイン構築事例の紹介がなされた。また，その環境を活用した建設機械や交通関連プロジェクトの具体的な取り組みについても解説が行われた。さらに，メタバースとGPS情報を用いた自動運転車両・建設機械の遠隔モニタリングの事例や，3D機械設計CADデータと連携した加工機械のメタバース活用事例についても紹介があった。

以上のように，デジタルツイン，メタバースに関する最新の活用事例とともに，AI技術の活用に関する展望や今後のソフトウェア技術の可能性についても理解することができ，参加者にとって非常に有意義な講演であった。

○参加者：約110名

○報告者：景山陽一（秋田大学大学院理工学研究科）